

# Art Journal

Kei Yasaka

八坂圭活動録

**Vol.1**

**1997 > 2014**



非売品・保存用資料

---

八坂圭アートスタジオ

〒 811-1362

福岡市南区長住 6-11-3

0120-319-444

<http://yasakakei.com>

[art@yasakakei.com](mailto:art@yasakakei.com)

1997

多摩美術大学 絵画科油画専攻 卒業

1998

第8回 ART BOX 大賞展福田繁雄審査員賞受賞

1999

2001

多摩美術大学大学院 絵画科修士 修了

2001

ギャラリーゴトウ（銀座）にて初個展

パプアニューギニアへ渡航

2002

ギャラリーゴトウ（銀座）にて一時帰国展

2003

ゴロカ大学（パプアニューギニア）  
美術科教員資格コース修了

ゴロカ大学



ゴロカ大学の美術室

トーライ部族の祭り



セピック地方の長老

2003

ギャラリーゴトウ（銀座）にて個展

※福田 繁雄

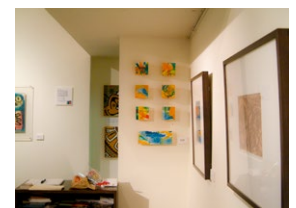
（ふくだしげお、1932年2月4日 - 2009年1月11日）  
20世紀の日本を代表するグラフィックデザイナー・視  
覚芸術家の一人。単純化された形態とトリックアートを  
融合させたシニカルなデザインが特徴。



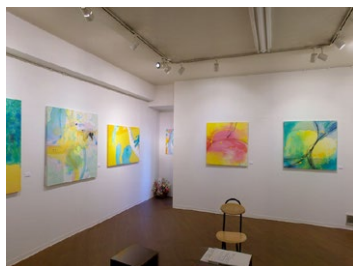
福田繁雄  
VICTORY1945 (1975)  
1975年の第二次世界大戦終戦の  
30周年記念日ポスター



EMERGE：八坂圭（1998）  
福田繁雄審査員賞受賞作品



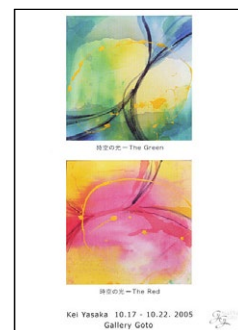
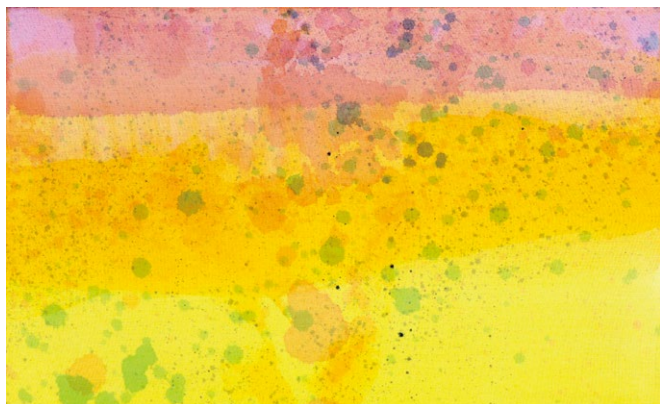
ギャラリーゴトウでの展示。多くの来場者を得た。



2005年10月17日～22日

4回目となるギャラリーゴトウでの展示。ニューギニアでの経験がいかされた、鮮やかな色彩が好評だった。その後のスタイルにつながる技法が確立し始めている。

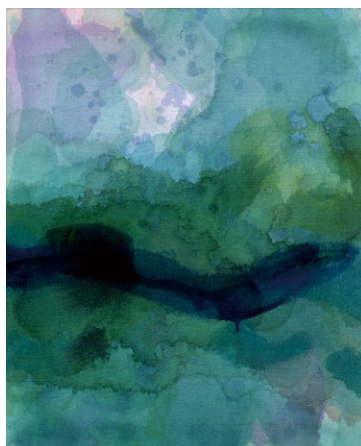
麗あけそめ  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
38 x 62 cm



新しく友達ができるところ  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
100 x 91 cm



時の山あい  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
52 x 42 cm



2007

飯田橋 Gallery 52 個展

2007年9月14日～19日

作品を見たギャラリーオーナーからの企画提案による個展。アートファンだけではなく、音楽家・セラピストなどの間へも評判がひろがった。  
この個展をきっかけに医療機関に作品が置かれることにもなった。



散ったらまた咲く  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
61 x 82 cm



The place ～青くまじあう～  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
83 x 120 cm



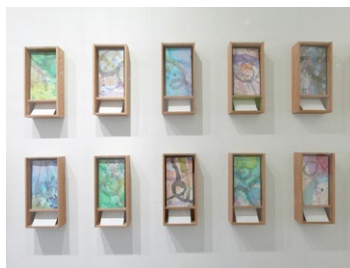
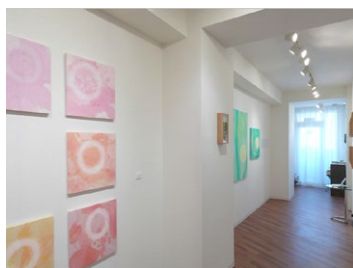
とじたらひらく  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
71 x 71 cm



The place ～赤くまじあう～  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
83 x 120 cm

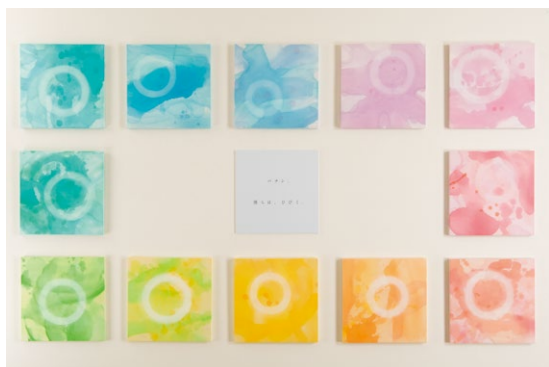
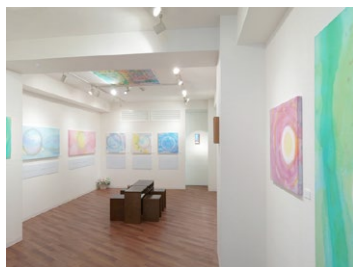






2008年9月1日～9月6日

絵のスタイルが確立し、ファンが増えてくるなかで、新しい試みとして、言葉と絵の組み合わせ作品に挑んだ。「アート」という概念に近づきにくさを感じていた人も、作品をたのしめたという声が聞かれた。



光〇響  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
39 x 39 cm 12点



光一ぼく  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
61 x 136 cm



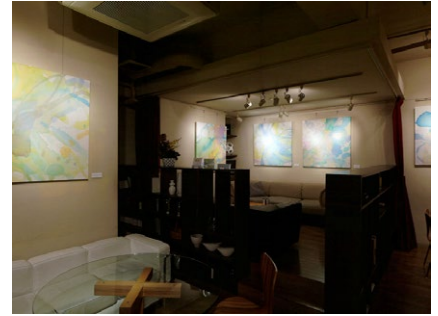
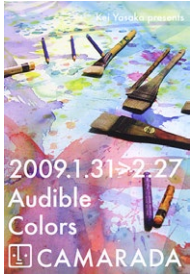
光一つつむ  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
61 x 136 cm

2009

中目黒 CAMARADA

2009年1月31日～2月27日

レストランのギャラリースペースでの展示。期間中に、  
クリスタルボウルやディジリドゥの演奏によるライブペ  
インティングイベントを開催し、多くの来場者を得た。



2009

アートフェア Art Singapore 2009

2009年9月14日～19日

世界各国のアートフェアに積極的に参加する湘南台画廊  
のブースでの展示作品に選ばれ、国際アートフェアに初  
出品。



Beyond the bamboo blind  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
60 x 60 cm



The fluid red  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
60 x 60 cm



Big creature  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
60 x 60 cm







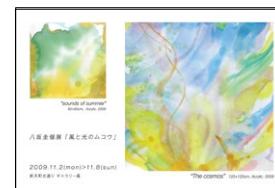
The cosmos  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
120 x 120 cm



The Moment  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
61 x 136 cm

2009年11月2日～11月8日

地元の福岡での初個展。地方都市で、最新のアートを堪能できる貴重な時間を得られたとの声が聞かれた。



## 西日本新聞での紹介

画家 八坂圭さん (35) = 福岡市南区

「磨かれたパイプとして」

にじんだパステルカラーに閃光(せんこう)のような黄色が散る。水彩画を思わせるが、化学繊維ビニロンにアクリル絵具を置く独自の技法で「現代の水墨画」を表現する。

西南学院高を卒業後、多摩美大へ進学。「あまりにコンセプチャル(概念的)な日本の現代美術」に違和感を覚えるなかで、埼玉県鶴ヶ島市が所有していたパプアニューギニア美術のコレクションに出合った。「情緒に流されない緊張感に、これだ、と思ったんです」。現地で美術を学ぼうと2年間、パプアの大学に留学し、精霊信仰や自然との共生の生活に触れた。

帰国後、作風に変化が表れてきた。濃く鮮やかだった色調は、輪郭もおぼろげに。「ぼくたちが普段囲まれている、自然の愛やエネルギーは、きっとこんな形だろうと。ぼくはあくまでその受け手でありたい。ただ絵筆になり、よく磨かれたパイプでいたい」と話す。近年は、音楽とのコラボレーションも進めているという。

11月2～8日、福岡市・天神のギャラリー風 = 092(711)1510 = で個展を開く。

= 2009年10月11日(日曜日)西日本新聞 クリエーターズ・ガーデンのコーナーにて



2010

大井町 カフェ・ギャラリー優空間

2010年1月12日～30日

カレンダー原画展で、ライブペインティング。



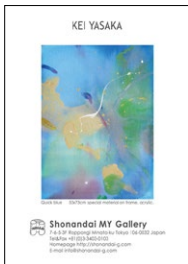
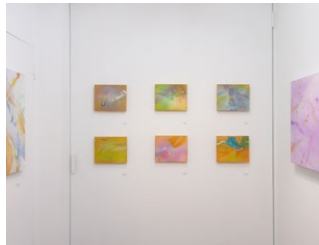
2010  
オリジナル  
カレンダー  
1月原画

2010

六本木 Shonandai MY Gallery

2010年3月11日～18日

造形作家の山本秀明とパートナーの山本美知子による湘南台ギャラリー。独自の基準で作家を厳選している。この年から、定期的にこのギャラリーで個展を開催するようになる。湘南台ギャラリーは横浜に、Shonandai MY(エムワイ) Gallery はサテライトとして六本木にある。



Stable ocher  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
73 x 53 cm

Massive green  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
73 x 53 cm

Encounter  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
48 x 76 cm





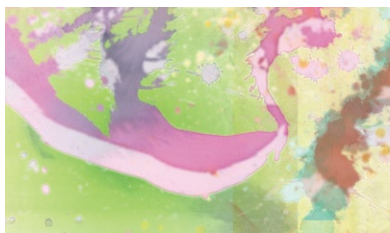
2010年6月15～20日

地元情報誌の表紙を担当するようになったこともあり、来場者がいろんな世代・地域に広がっていった。この個展から、新しく「ジクレー版画」作品を発表するようになる。

Cosmic Flower  
ジクレー版画（インクジェット・和紙）  
45 x 20 cm



Big wave  
ジクレー版画（インクジェット・和紙）  
40.4 x 23.8 cm



Strings  
ジクレー版画（インクジェット・和紙）  
40.4 x 23.8 cm



Frying  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
130.5 x 163 cm



Leap  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
54 x 90 cm



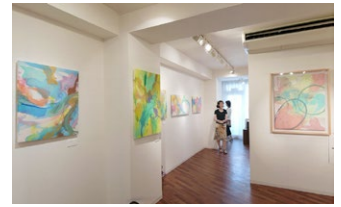


2010

銀座 ギャラリーゴトウ

2010年9月12日～18日

同ギャラリーで6回目の個展。作品のコレクターの幅がひろがり、会場自体が出会いの場になっている。



あなたはすでに出会っている  
ピニロンキャンバス・アクリル絵具  
90x63 cm



Strong voyager  
ピニロンキャンバス・アクリル絵具  
48x76 cm



2011

福岡 ギャラリー風

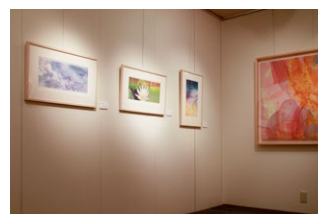
2011年1月25日～30日

2010年末にエジプトを取材し、そこで得た感覚をベース制作された作品群の展示。多くの人を魅了し、福岡でも作品のファンを増やす。

Flexible tone  
ピニロンキャンバス・アクリル絵具  
166x88 cm



Lotus  
ジグレイ版画 (インクジェット・和紙)  
45x20 cm



2011

福岡 カフェ・ザンドウ 個展



2011年2月9～4月4日

ジクレー版画をベースにした作品をインテリアとして提案するカフェでの個展。若者に人気の店で好評だった。



Café Xando



希求  
ミクストメディア  
33.3 x 24.2 cm



Liquid Chamber 03  
ミクストメディア  
26 x 26 cm

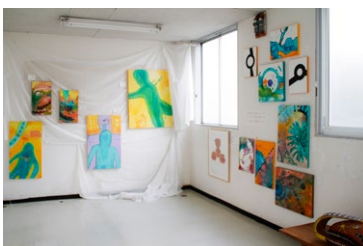
2011

福岡 長住展 個展



2011年3月13～30日

自宅付近の空ビルを借りて、過去に遊んだこれまでの作品の展示とライブペインティング。この時期、東日本大震災がおこる。





2011

福岡 ギャラリー風

2011年6月21日～26日

福岡でも認知度が上がり、2階と3階の2フロアをつかって、作品を披露。ライブペインティングも好評を博した。



光の子  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
81 x 65 cm

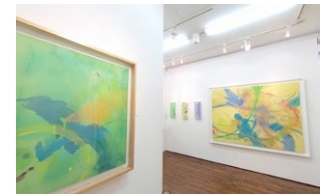
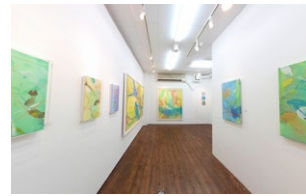


2011

六本木 Shonandai MY Gallery

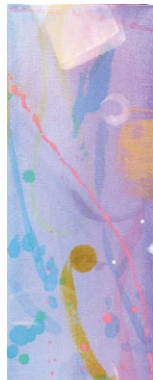
2011年11月11日～18日

同ギャラリーでの2度目の展示。淡いだけでなく、強い色彩の作品も制作するようになる。



A Pair of Echo  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
162 x 130.3 cm

Single tone  
ビニロンキャンバス  
アクリル絵具  
47 x 18 cm

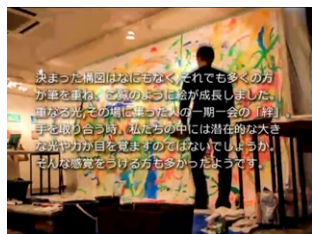


飛び立つ存在  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
91 x 72.7 cm



2011

福岡 ギャラリー風 個展



決まった構図はなほもなく、それでも多くの方が  
足を運ばれ、ご覧のうちに命が成長しました。  
道なる光その場にまっただの一期一会の「絆」  
手を握り合ったり、おなかの中には潜在的な大さ  
なエネルギーが目を覚ますのではないのでしょうか。  
お月様も喜びを伝える方も多かったようです。

2011年11月29～12月4日

作品展示と共に、来場者に絵を描いてもらうイベント。  
自由に絵を描くことで誰でも前向きさを見る人に届ける  
ことが出来る事を伝える。



2012

福岡 ギャラリー風 個展



2012年4月30～5月6日

有名な博多どんたくで賑わう時期に一階のフロアを開放して  
個展を開催。この年の春にパプアニューギニアを再訪して、  
あかるい光を色彩で表現した。祭りの空気と相まって、  
新しいファンを多く獲得した。

ソソボンガ  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
162 x 130.3 cm



真新しい日  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
65 x 80 cm

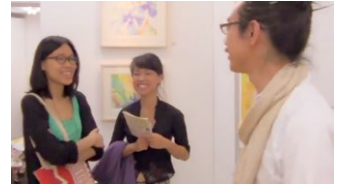


2012

六本木 Shonandai MY Gallery

2012年5月23日～6月3日

同ギャラリーで3度目の展示。この時から会期が2週間に延長される。ニューギニアの取材が反映された作品は原初的な明るさが満ちている。当ギャラリーは六本木アートナイトに参加していて、イベント当日は遅くまで多くの来場者が集まった。



精霊達のダンス  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
73 x 53 cm



Light of the forest  
ジクレー版画 (インクジェット・和紙)  
35 x 35 cm



宇宙からの手紙  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
48 x 76 cm

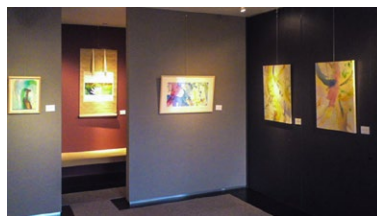


2012

福岡 アートフォーラム千

2012年6月2日～30日

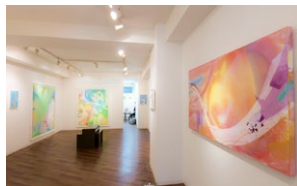
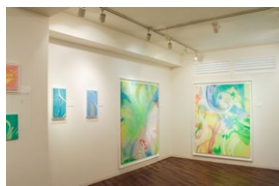
福岡市内を見下ろす小高い丘の上の上質な展示空間。ギャラリーオーナーの誘いにより、最近作の展示。和の美との融和を提案。





2012

銀座 ギャラリーゴトウ 個展



2012年11月12日～11月17日

同ギャラリーで7回目の個展。八坂圭の作品世界を愛する人が、また人を呼ぶという循環が広がる。



An Embrace - 光の抱擁 -  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
81 x 130 cm



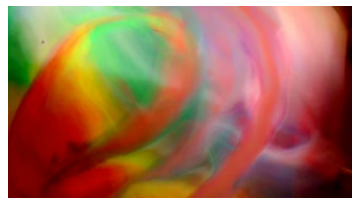
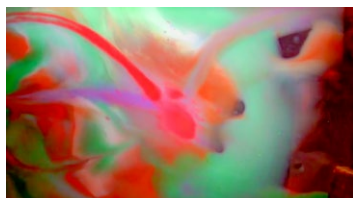
植物たちの神殿  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
81 x 65 cm



2012

福岡 天神 Loft 個展・ライブペインティング

2012年12月17～25日



若者たちに人気の天神 Loft でボイスパフォーマー Rana と Hammond オルガンの長直樹とのコラボレーション。水の中に滲むガラス越しの世界がひろがる。

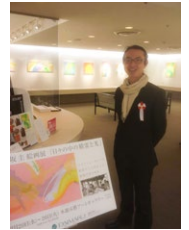
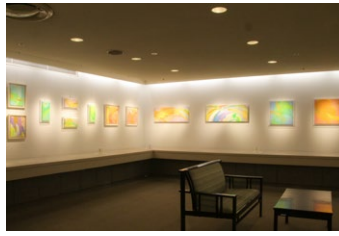


2013

福岡 大丸アートギャラリー 個展

2013年2月20日～26日

大丸からの誘いに応じ、デパート内での個展。それまで私の作品を知らなかった新しいファンを多く得た。また、その作品が、地元のテレビや新聞で紹介された。



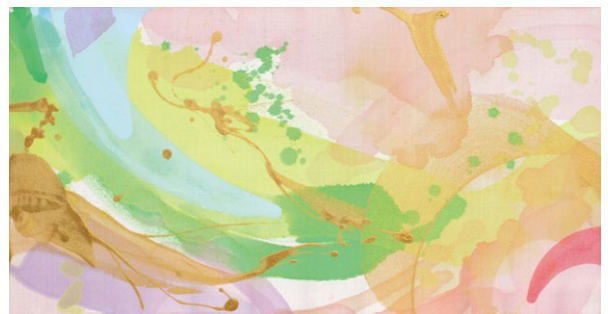
浅葱の解放  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
53 x 53 cm



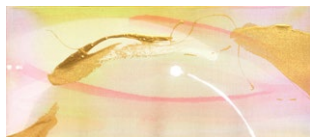
薄紅の解放  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
53 x 53 cm



優しい呼応  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
53 x 102 cm



奔放な愛  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
21 x 49 cm



咲く時  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
18 x 37 cm



時鳥  
ジクレー版画 (インクジェット・和紙)  
31 x 31 cm



虹のふもと  
ジクレー版画 (インクジェット・和紙)  
31 x 31 cm





福岡の放送局 RKB 毎日放送のベテランアナウンサー納富昌子がインタビューをつとめる番組「元気 by 福岡」で紹介される。当番組は九州経済の活性化・文化の実りをもたらす地域の主役たちを紹介し、電波を通して元気を発信している。パプアニューギニアでの体験や、2013年の博多大丸での個展を紹介した。(放送自体は2012年9月2日)



元気 by 福岡の紹介文—引用—

今週は福岡生まれの現代アーティスト・八坂 圭さんをご紹介します。多摩美術大学の大学院で現代絵画を学んでいた八坂さんは美術の理論を超えた オセアニアのプリミティブな絵と出会います。その魅力にとりつかれた八坂さんは単身、パプア・ニューギニアの大学に入学し森の中にある村に暮らし、人々から代々伝わる原始美術の手ほどきを受けます。ニューギニアのアニミズム（自然信仰）は日本の八百万の神に通じると感じている八坂さんは何か見えざる神の手（something great）が自分に絵を描かせていると語ります。自然のエネルギーをキャンバスに移し森の中の精霊

たちを感じながら描く世界は不思議な癒しを見るものに与え日本でもじわじわとファンを増やしています。現在はふるさと九州の阿蘇などの雄大な自然の中で制作を続け銀座や地元福岡の新天地にあるギャラリーなどで発信しています。来年2月には博多大丸で初の本格的な個展を開催することが決まりました。



「精霊」ヒントに創作 八坂さんが個展開催 福岡市の画家  
天神で26日まで

情報誌「月刊はかた」の表紙を手がけている福岡市南区の画家、八坂圭さん（38）が「日々の中の精霊と光」と題した個展を同市・天神の博多大丸6階アートギャラリーで開いている。感じたままに大胆に筆を走らせ、アクリル絵の具がにじんだ抽象画約40点が並ぶ。26日まで。入場無料。

八坂さんは多摩美術大学院を修了後、2002年から1年半、南太平洋のパプアニューギニアの大学に留学。現地の人が、海や山といった自然に宿る「精霊」を描くのを見て、制作のヒントを得たという。

作品は、吸水性の高いビニロン繊維のキャンバスに、ピンクや青、黄緑

といったアクリル絵の具を薄く水に溶かして描いている。「目に見える以前、耳に聞き超える以前の感覚」を大事にし、何も考えずに筆を動かすという。八坂さんは「誰もが心の奥に持つ優しさや、温かい心を表現した。人間の明るい部分を感じてもらえれば」と話している。

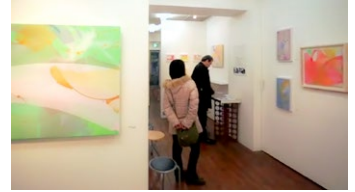
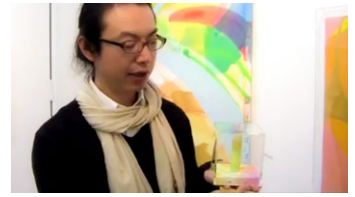
＝西日本新聞 2013年2月23日 土曜日＝

2013

六本木 Shonandai MY Gallery

2013年3月20日～31日

明るい色彩とにじみによるグラデーションに加え、くっきりとした不透明色の面の要素が絵の重要な要素になる。この新しい試みは多くのひとの心をつかみ、成功と言える結果を残した。



The Lift  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
65.5 x 144 cm



碧の奔流  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
80.2 x 65.3 cm



The Light pillar  
ミクストメディア  
95 x 9.5 x 11.2 cm

2013

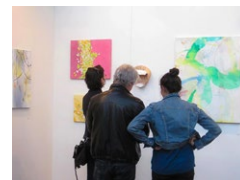
ベルギー OFF Art Fair 2013 in Brussels

2013年4月19日～22日

湘南台画廊のブースに作品が並ぶ。同アートフェアにアジア圏からの参加ははじめてだったという。作品は好感をもって受け入れられた。



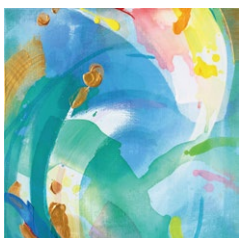
泉のざわめき  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
72.7 x 91 cm





2013年9月25日～10月6日

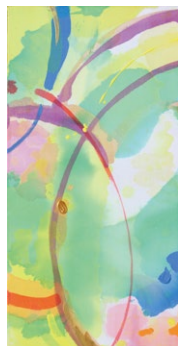
宮古島へと取材旅行。自然の中から感じる風やひかりの感覚を色彩の構成と線のリズムに置き換えるというテーマが多くの人々の共感を生む。



Sea of Miyako  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
45.5 x 45.5 cm



Cosmic fusion  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
162 x 130.3 cm



Optical vortex 1,2  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
80 x 40 cm



2013年10月～

地元の青年会議所の呼びかけで、落書きだらけの街の壁をアートで更生するイベントに参加。街行く人が「宇宙を感じる」と声をかけられる。制作の様子は地元のテレビでも取り上げられた。





2013

福岡 山本文房堂 個展

2013年12月9日～22日

過去の作品を一同に会してファンに楽しんでもらおうという企画。多くの来場者が、作品をコレクションに加えられた。



Forward  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
72.7 x 72.7 cm



2014

台湾 第28回アジア国際美術展

2014年2月19日～22日

金門島で行われた国際展に参加。ここで多くのアジアの作家たちと交流が生まれる。

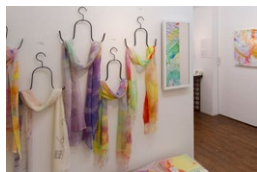


Mediator  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
80.3 x 100 cm



2014

六本木 Shonandai MY Gallery 個展

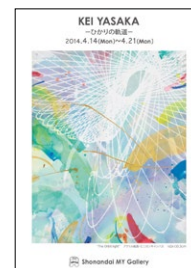


2014年4月14日～4月21日

作品データを最新技術でストールに仕立てた作品を紹介。「生活の中にアートを」作品が多くの人に購入されるのも「インテリアアート」という概念が一般に広がってきた世相と関連していると感じる。



The orbit light  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
130.3 x 162 cm



2014

ベルギー OFF Art Fair 2014 in Brussels

2014年4月25日～28日

昨年に引き続きベルギーでのアートフェアに参加させていただきました。高い審査基準で知られるヨーロッパのアートフェアに参加できることは、Shonandai Gallery への信頼の高さを証明している。



A trunk and branches  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
60.6 x 72.7cm





2014

福岡 ギャラリー風 個展

2014年4月28日～5月4日

博多どんたくにあわせての個展。福岡で認知度が高まるなか、なかなか生活に取り入れられないという声があった。ストール作品は生活に取り入れやすいと好評を得た。



The forefront  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
130.3 x 162 cm



Parabolic motion  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
53 x 65.3 cm

2014

福岡 博多リバレイン「D12」個展

2014年6月9日～22日

アートカレンダーやストール、インテリアアートとしての作品展開に興味をもっていただき、一般社団法人福岡デザインアクションが福岡県から受託してオープンした「D12」で作品展示の提案をいただく。アートを多角的に見てもらおう機会になる。



FUKUOKA  
DESIGN  
STAGE

D12

歓喜する宇宙  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
162 x 130.3 cm



(第3種郵便物認可)

# Eエンタメ Entertainment MAX

★本紙HPでも公開  
「Get」の別コマ写真を随時掲載  
<http://nishinippon.co.jp/nlp/entame/>

## 原始の生命観、光あふれる世界

### On Gallery オンギャラリー

八坂圭さん作品展

鮮やかな色彩と透け感、ほどばしるような線の動き。八坂圭さん(39)＝福岡市、顔写真＝の絵を前にすると、何だか気持ち澄みきってくる。

アクリル画ながら、水彩のような質感の秘密は、キャンバス地にある。吸水性がある化学繊維「ビニロン」を使うことで、にじみを全体に行き渡らせ、同時に絵の具の定着度を高めた。作品「無限の広がり」は、湖や森、またはオーロラのように揺らめく緑の中に、振り子を使って白の絵の具を散らした。

「内面の光を表現したい」と美術の道へ。オーストラリアの先住民・アボリジニなどの原始的な美に傾倒し、多摩美大からパプアニューギニアに留学。地元のビジン語を習得し古老たちから土地の伝説を聞いて回った。熱帯の自然は精霊の存在さえ感じさせる。作品がだんだん変化した。「精霊たちの声、や太陽の光を色に変換しながら、もっと自由な意識で描けるようになりました」。まばゆい原始の生命感が作品に立ち

上がってきた。「形や音になる前の、光あふれる世界を感じ取って絵筆を動かすんです」

22日まで、福岡市博多区下川端町の福岡デザインステージD12(リパレイン2階)で、約15点を展示中。「より生活に溶け込む作品を」とストールなど服飾雑貨の制作も始めた。インクジェット技法で繊細なグラデーションを表現する。「色の響き合いを感じてもらえたら」。D12＝092(272)5055。

染織作品・ストール



「無限の広がり」

### 原始の生命観、光あふれる世界

鮮やかな色彩と透け感、ほどばしるような線の動き。八坂圭さん(39)＝福岡市、顔写真＝の絵を前にすると、何だか気持ち澄みきってくる。

アクリル画ながら、水彩のような質感の秘密は、キャンバス地にある。吸水性がある化学繊維「ビニロン」を使うことで、にじみを全体に行き渡らせ、同時に絵の具の定着度を高めた。作品「無限の広がり」は、湖や森、またはオーロラのように揺らめく緑の中に、振り子を使って白の絵の具を散らした。

「内面の光を表現したい」と美術の道へ。オーストラリアの先住民・アボリジニなどの原始的な美に傾倒し、多摩美大からパプアニューギニアに留学。地元のビジン語を習得し古老たちから土地の伝説を聞いて回った。

熱帯の自然は精霊の存在さえ感じさせる。作品がだんだん変化した。「精霊たちの声」や太陽の光を色に変換しながら、もっと自由な意識で描けるようになりました。まばゆい原始の生命感が作品に立ち上がってきた。「形や音になる前の、光あふれる世界を感じ取って絵筆をうごかすんです」

22日まで、福岡市博多区下川端の福岡デザインステージD12(リパレイン2階)で、約15点を展示中。「より生活に溶け込む作品を」とストールなど服飾雑貨の制作も始めた。インクジェット技法で繊細なグラデーションを表現する。「色の響き合いを感じてもらえたら」。



2014

六本木 Shonandai MY Gallery

2014年10月9日～20日

ネパールのヒマラヤ国立公園に取材旅行をしたあとの作品群を発表する。この時期、130号の大作も展示し、ギャラリー自体が地球の胎内のような空間になった。



The top 01  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
72.7 x 116.7 cm



碧い旋風  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
53 x 53 cm



The dignity  
ビニロンキャンバス・アクリル絵具  
162 x 194 cm



2014

早稲田 つぶつぶカフェ 個展

2014年10月22日～27日

カフェレストランのギャラリースペースでの個展。雑穀を中心とした自然食の店内と色彩豊かな作品群がハーモニーを奏でる。





Talking about the Mangrove  
キャンバス・アクリル絵具  
72.5 x 72.5 cm

2014年11月27日～12月8日

アジア国際美術展の出会いから、マレーシアの  
アーティスト・イン・レジデンスに招聘される。



Full of Love  
キャンバス・アクリル絵具  
72.5 x 72.5 cm



福岡のアジア国際美術家連盟展に出品していた繋がりから、ササラン国際芸術祭に招聘されました。ササランはマレーシアの西にある小さな漁村で、地元出身のアーティストが発起人となり、夏休みの期間中、小学校を使い、世界中のアーティストを招聘して、アーティスト・イン・レジデンスを開催しています。

10年ほど前にはじまったこの企画は、三年おきのイベントとして、地元に着し、村の人々や、地域の協賛企業のサポートによって成り立っています。運営はササラン・アート・アソシエーションという非営利の団体が担っています。

私たち招聘されたアーティストは、その地域の民家に泊まり、毎食を学

校の食堂でいただき、2週間の間、制作に集中しました。

世界中から集まった多くのアーティストに刺激され、また、私の作品も多くのアーティストに刺激を与えたようです。作品はすべて、私の意志によって、ササラン・アート・アソシエーションに寄贈しました。期間中、23ヶ国から集まった70人ほどのアーティストから200を超える作品が生まれたようです。

主催者の「アートによって社会にどんな結果をもたらすかという話ではないんだ。アートそれ自体が結果なんだ。」という言葉が印象深く残りました。(八坂圭)

# アートレッスン

色彩を使い美的感覚を磨くレッスンを、2005年より東京と福岡で継続的に開講している。



制作を通じて培ってきた繊細な感覚や技法を、体系的にまとめ伝えている。このレッスンはとても人気があり、受講者のQOL（物質面だけではない生活の質の指標）の向上に役立っている。

# プロダクト

## ジクレー版画

デジタル技術・写真技術・ドローイングを活かしてつくられるオリジナルのイメージ。高精細なインクジェット印刷により、新しい時代の版画芸術として展開している。



幸せなシンビジウム  
ジクレー版画（インクジェット・和紙）  
13.6 x 18.1 cm



Big wave  
ジクレー版画（インクジェット・和紙）  
23.8 x 40.4 cm



## 絵本

掲載作品からストーリー、デザイン・プロデュース・販売まですべてが作家の手になる。

数がかぎられるが、幸運にも出会えたひとには多くの感動を与えた。





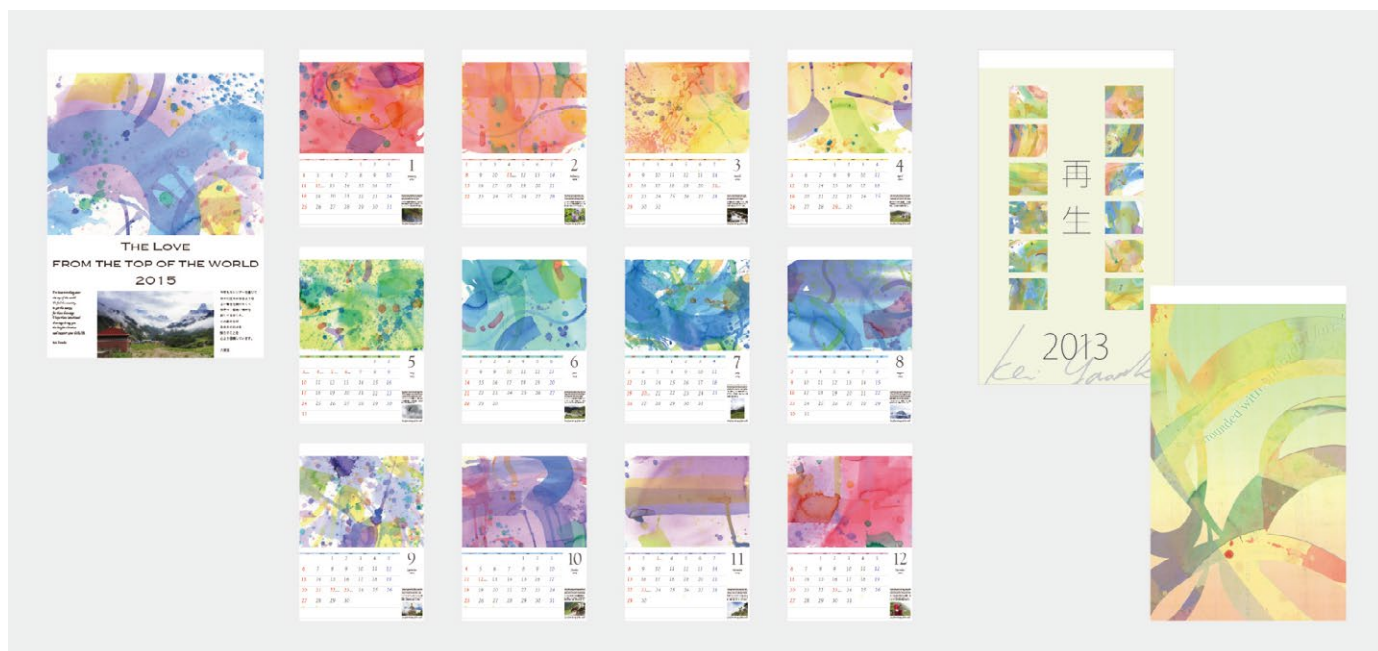
## ストール

最新のインクジェット技術により、いままで難しかった、高精細なグラデーションや色彩の高い再現性が得られるようになった。オリジナルのデジタルイメージを活かし、身につけるアートの開発も手がけている。



## カレンダー

2009年よりセルフプロデュースによるオリジナルアートカレンダーを制作している。毎年、カレンダーのための描き下ろしドローイングを自然豊かな地を旅して描き、クオリティーの高い印刷でファンに届けている。



# etc.

## テレビ

日本テレビ「おしゃれイズム」スタジオアートとして。

2013年6月～8月

## 月刊はかた

2010年より、福岡で長年発行されている情報誌「月刊はかた」の表紙絵を担当している。飲食店などに置かれることが多く、明るい絵柄が大変好評。



## MOA 美術館 福岡児童作品展

2008年より現在に至るまで審査員をつとめる。毎年5000点以上の作品が集まり、新しい才能が育っている。

